

地方創生加速化交付金に係る事業実施結果報告
(各交付対象事業の重要業績評価指標 (KPI) の実績値等)

No	① 交付対象事業の名称	② 交付金の種類	③ 実績額 単位:円	④ 本事業における重要業績評価指標 (KPI)				⑤ 本事業終了後における実績値		⑥ 外部有識者からの評価		⑦ 実績値を踏まえた事業の今後について		
				指標	指標値	単位	目標年月	実績値	事業効果	事業の評価	外部有識者からの意見	今後の方針	今後の方針の理由	
1	テレワーク者移住による地域産業強化と地域活性化事業	加速化	31,812,236	指標①	テレワーク移住者数	60	人	H29.3	21	地方創生に効果があった	地方創生に効果があった	住民不在の議論にならないよう、丁寧な説明を心がけてほしい。 町長・議会・住民とよく話し合い根回しをして取り組んでいく必要がある。	継続的な事業実施を予定していたが中止した	アプリ開発については、地方創生推進交付金により進める計画であったが、議会の否決により予算化が出来なかった。否決理由はテレワーク企業への発注が前提であり、複数年にわたる開発の先が見えないとの指摘であった。 テレワークを活用した地方創生については、住民及び議員との十分な議論を重ねて理解を深めて進める必要があると考える。
2	諏訪圏6市町村によるSUWAブランド創造事業	加速化	10,597,000	指標①	人材育成のための研修会の参加者数	30	人	H29.3	28	地方創生に効果があった	地方創生に効果があった	企業のニーズ等を十分に把握しつつ、地域全体として半歩先を行く取り組みに発展させていきたい。	事業が効果的であったことから取組の追加等更に発展させる	ロケットの小型エンジンの開発や通信観察技術の向上などに取り組み、諏訪地域の提案型技術者の育成を行う。 外部展示会、大手企業内での展示会を開催し、新規受注を確保するとともに雇用を創設する取組を広げるため。
3	日本の顔となる観光地域づくりのためのハケ岳DMO構築事業	加速化	2,852,790	指標①	観光地利用客数	790,000	人	H29.3	799,800	地方創生に効果があった	地方創生に効果があった	全国130のDMO候補法人の中でハケ岳の取組はTOP1・2として注目されている。	特に見直しをせず事業を継続する	(一社)ハケ岳ツーリズムマネージメントにおいて、加盟店の拡大を図るため月に2回程度システム説明会及び体験会を開催していくほか、システムを有効利用し地域のマネジメントを行っていく。また、市町村はそれらを支援していく。
4	御柱祭の知名度活用による諏訪エリアの長期滞在型観光創生事業	加速化	3,794,000	指標①	産業別従事者数 宿泊飲食サービス業(諏訪エリア内)	11,000	人	H31.6	10352 (中間値)	地方創生に効果があった	地方創生に効果があった	昨年の御柱をスタートに次の御柱までの期間に、本事業を目標に定めて展開できるので、達成が見込まれる事業だと思います。	事業が効果的であったことから取組の追加等更に発展させる	構築したブランド「諏訪の国」の認知拡大とブランド活用に向けた取り組みが必要である。また、首都圏での発信については、旅行博のような一時的な情報発信に留まらず、コアターゲットに向けた定期的なプロモーションによる、来訪契機や交流意識を醸成する取り組みも必要であるため。
5	移住交流(地域しごと支援センター)推進事業	加速化	485,000	指標①	圏域移住窓口相談者	100	人	H29.3	179	地方創生に非常に効果的であった	地方創生に非常に効果的であった	移住窓口相談者が、直ちに移住するとは限らないものの、移住の糸口として、相談窓口の充実は必須である。	事業が効果的であったことから取組の追加等更に発展させる	平成29年度は自治体間だけでなく、地元企業や地元団体との連携を強め、就職支援策の更なる拡充を今後の取り組み方針として事業を実施していく。

各事業の評価等を踏まえた地方版総合戦略の見直しの有無

見直しを行わない

地方版総合戦略を見直した場合はその内容、見直しを行わないこととした場合はその理由